

## その時！津波から命を守る小型救命艇シェルターを発表

高い技術力によりボルボ・ペンタ、いすゞ、カミンズなど、複数のマリンエンジンメーカーの代理店指定を受けるミズノマリンは、津波対応型救命艇シェルターを出展する。東日本大震災では多数の尊い命が失われたが、その原因の90%は津波によるものだった。同社は、救命艇

シェルターの開発に着手。2013年のボートショーでは、25人乗りの救命艇シェルター「LBS25E」を発表し、横転しても自然復帰するセルフライディング構造や、万一浸水しても沈まない不沈構造など、その実際的なポテンシャルが注目を集めた。今回は、8人乗りの小型タイプ

のお披露目となる。よりコンパクトになった新型救命艇シェルターは必見である。

また、例年好評のボルボ・ペンタなどプレジャーボート用のディーゼLMリンエンジンのほか、アラマリンジェット社のウォータージェットユニット「AJ245ウォータージェット」も展示される。



(左) 5年前の「LBS25E」に続き、新たに開発された8人乗りの小型救命艇シェルター

(右) ボルボ・ペンタのプレジャー用ディーゼルエンジン「D6」(370HP)と「D2」(40～75HP)や、いすゞマリンエンジンも展示される